



新しい職員のご紹介



4月から青山病院に入職しました福本信吾です。以前の病院では消化器外科病棟や看護学校で勤務していました。病棟での勤務は2年のブランクがあるため不安でいっぱいでしたが、先輩看護師に丁寧な指導をしていただき、少しずつですが仕事に慣れてきています。まだまだ分からない事ばかりですが、1人1人の患者さんに対して思いやりのある看護を提供していきたいと思えます。趣味は子供と遊ぶことです。二人の娘と休日に出かけることを楽しみにしています。家族との時間を大切にしながら仕事にも励んでいきたいと思えます。よろしくお願ひします。

新しい職員のご紹介



4月より、青山病院へと入職しました金本麻由です。前回の病院では内視鏡室勤務だったので、病棟勤務は1年ぶりですが、職員の方々が優しく接してくれて、なれない事ばかりですが楽しく仕事をさせてもらっています。前回勤務していた病院と看護体制が違うので慣れるまでに時間がかかりそうですが先輩に教えてもらいながら日々、看護を行っています。看護師、看護補助者さんの方々が協力しながら勤務しているため、患者さんと関わる時間が多く、患者さんの希望にこたえようとしているところがいいと思っています。また、先輩方が優しく、チーム全体で関わってくれるので、安心して業務を行うことができます。まだ不慣れなことばかりですが、よろしくお願ひします。

6月7日は全国的に「山開き」が行われる地域が多く、登山愛好者にとってはシーズンが始まりを告げる嬉しい季節です。最近では雪が消え、登山道の整備や山小屋の準備が整い、安全に登山ができるようになってきました。『山開き』の意味は、イベント的な山開きが行われることが多くなってきました。本来の山開きは少しいたが、本来的な山開きとは少し意味合いが違ったものであったようです。古来日本では山で修行したり山そのものを山として敬う山岳宗教が盛んでした。そのための聖域である山に入る事は修行や徳を積んでおこなう僧侶だけが許されておこなうことが一般の人は固く立ち入ることが禁じられていました。江戸時代に入ると一般にも聖域への立ち入りや許されることとなり、その名残が「立山講」など「〇〇講」という形で残っています。奈良県の大峰山、ちなみに、奈良県の大峰山、山上ヶ岳は現在でも女性に限り「女人禁制」という形で入山することができず賛否両論です（中には私の知人のように男装してゲリラ登山した強者もおりますが...）

このように一般人が入山を許していただく期間の始まりに祈禱や身を清める禊ぎを行う儀式が山開きといわれています。広島県内でも宗教儀式として山開きを執り行っている山域はあまりないようですが、石鎚山などでは執り行われていて、山開きのために一度参加して体験する人が増えています。

山開き



診療案内

月曜日～金曜日 午前：9時～12時 午後：4時～6時  
土曜日 午前：9時～12時 午後：休診  
休診日：日曜・祝日・年末年始（12月31日～1月3日）・お盆（8月15日）

担当医

月曜日	午前：青山	午後：内科（交代制）	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：宮里	午後：大村	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：大村	午後：腎臓内科 （細川・森本）	土曜日	午後：脳神経内科（石橋）	午前：内科（交代制）

季節の風景



もうすぐ梅雨入り